

食品の安全と 堆肥化の取組について

～県内のカット野菜製造工場、
バイオガスプラントを訪問しました～

農林水産部

No.3

空心

仕事の



沖縄総合事務局消費・安全課では、
食品関連事業者を訪問して食の安全・
安心の取組状況の聞き取り、意見交
換を行っています。

最近、スーパーなどでサラダやカッ
ト野菜商品をみかけることが多くな
りました。そこで、県内でカット野
菜商品を製造している沖食スイハン
株式会社を訪問し、金城代表取締役
社長と上里工場長にお話を伺いまし
たので紹介いたします。

沖食スイハン株式会社糸満工場



工場長によると「当社では、沖縄
の皆様に野菜をご賞味いただけるよ
うに約20年前からパッケージサラダ
の受託製造を開始し、約7年前から
はお惣菜大手食品メーカーから受託
を開始し、製造を行っています。
現在のパッケージサラダの生産数
量は、1日平均約2万パック前後、
1ヶ月約61万パックを生産しており、
業務用のカット野菜を含め野菜事業
のみで、月平均65万パックとなりま
す。

夏秋期の野菜原料仕入先は主に県
外ですが、冬春期は沖縄県産のキャ
ベツ・レタス等が出回るため本島南
部の契約農家様から仕入れています。
今後、沖縄でも夏場に野菜が生産
され、カット野菜の原料として使用
できることに期待したい」とのこと

でした。

◆ **食品の安全管理に関する取組**
入荷した原料野菜がどの商品に使
用され、商品がどこの店舗で販売さ
れたかについての情報を記録するこ
とにより、不測の事態が発生した場
合でも追跡できる体制が構築されて
います。



カット野菜商品と金城代表取締役社長



契約農家のほ場（収穫の様子）



食品残さの受け入れの様子



バイオ液肥を施肥したブロッコリーほ場

八重瀬町バイオガスプラントでは、
乳用牛ふん尿や食品残さ等の廃棄物
からメタン発酵処理によってエネル
ギーを回収し、発電をすることです。
やえせ桜まつりに供給するなど地域
貢献の活動も行っています。
また、メタン発酵処理の副産物と
してできたバイオ液肥は毎日60トン
～100トンをサトウキビ、牧草、
野菜、花きなどに散布するなど地域
農業に利用しています。

株式会社八重瀬堆肥センター



沖縄総合事務局としても、食の安
全・安心に関わる取組や様々な情報
を消費者の皆様に引き続き紹介して
まいります。

沖縄総合事務局としても、食の安
全・安心に関わる取組や様々な情報
を消費者の皆様に引き続き紹介して
まいります。

お問い合わせ先

農林水産部 消費・安全課
☎ 098-866-1672